

ると地下駐車場は使わず、向いの市営駐車場を使って欲しいと案内されたが、今は、開放されているようである。市役所の駐車場であれば、市役所の起債が発行できたとし、市役所の駐車場ではなく一般の駐車場扱いとするなら、一般駐車場の起債が発行できただけで、結局いずれの起債も使わず損をしているが、一体、どうなっているのか。

答 建設当時、ホテル宿泊者のスペースとして使用することも検討しており、その中で、起債するには、宿泊者用、庁舎用の部分を明確に区分する必要がある、それを実施することができなかったため、地下駐車場については起債の対象とはしなかった。現在は、庁舎用駐車場として運用している。



ミグランズ地下駐車場

問 PFI事業の総額は、1

01億4654万9464円と示されていたが、どうなったのか。

答 合計額は、100億を超えていたが95億8,682万4,607円に引き下がっている。

問 ミグランズの展望台は、照明が調節できないことにより、窓ガラスが鏡になってしまっている。花火のシーズンまでに、夜景が見えるような運営を心がけてもらいたい。

答 照度の調整が可能か検討を進めており、花火シーズンも近づいており、7月中には一定の改善ができるように鋭意取り組みたい。

一般質問 大北がすけ (公明党)

防 災

問 備蓄品の現状と今後の整備は。

答 檀原運動公園、本庁舎、かしはら安心パークの3カ所に6月1日でアルファ米など食料5万3,000食、毛布

2万2,660枚等を備蓄している。今後も避難者ニーズに沿った備蓄を進める。

問 運動公園の防災倉庫はほぼ埋まっているが、今後、避難所での保管は考えているか。

答 以前は避難所となる学校で備蓄をしていたが、現在は3カ所の保管が合理的と考えられている。物資の増加等により必要になれば今後検討する。

問 橋が分断される状況も考えられる中、本当に3カ所で足りるか考える必要がある。食料品は管理が大変だが、毛布等を空き教室に保管することを検討されたい。昨年台風21号で夜に消防車等で避難情報を広報したが、現状の市民に対する情報伝達方法は。

答 登録制の安全・安心メール、市ホームページ、広報車による広報や消防団による周知がある。奈良県防災情報システムが昨年度運用開始し、各市町村の端末で情報を入力すると自動でNHKのテロップや携帯電話の緊急速報メールに通知することができる。

問 避難所開設の判断は。

答 避難所全てを一齐にあげるのではなく、必要箇所をあげているが、まず危機管

理監が判断し、最終的に災害対策本部長の市長が決定する。

問 SNSやホームページを使ってすばやく正確な情報を流してもらいたい。昨年の台風21号では、避難所に行ったあいていなかったということがあった。避難所をあげる指示と、その情報をホームページに載せる時間に差は無かったか。

答 避難所の開設を終えてから避難準備情報を出し、情報はリアルタイムで発信するのが基本だが、若干タイムラグがあったかもしれないので検証する必要がある。

問 マイク放送や同報系無線等の伝達方法の検討は。

答 津波のリスクがある沿岸部で導入されている。以前に検討したが、津波がなく、地震は予見が難しく大きな効果期待できず、風水害では窓を閉めるので聞こえないというところで、コストに見合わず見送った。国民保護事業の問題もあり今後検討したい。

問 学校での防災教育は。

答 社会科で自然災害や防災の記載が大幅に増え、これまで以上に防災教育に取り組

んでいる。「学校・園における防災マニュアル」をもとに幼稚園で月1回、小学校で各学期に1回、中学校で年2回の防災訓練を実施している。

問 小中学校における心肺蘇生教育の現状と今後の方向性とAED設置状況は。

答 中学校の保健体育で心肺蘇生やAEDの学習を行っていている。AEDは小中学校に各1台設置し、今年度中学校に各1台追加する。教職員を対象にAEDの講習会を実施しているが、児童生徒には実施していない。昨年3校で小学6年生を対象に、心肺蘇生の救命救急講習を実施した。

問 地域の子どもを対象にした防災教室の実施状況は。

答 安心パークを利用した防災教室は耳成小学校が毎年、平成27年度に鴨公地区、平成28年度に八木地区、鴨公地区、真菅地区、平成29年度は鴨公地区、香久山地区、金橋地区が実施している。金橋地区公民館で毎年非常食炊き出し訓練が実施される。6月16日に地域防災教室が耳成南小学校で実施され、児童約90名が学んだ。

問 楽しみながら学習体験が